

(注)「コモロ連合月報」は、新聞報道等をまとめたものであり、当館として事実関係を確認したものではありません。記事中にコモロ政府の公式見解と異なる内容が含まれる場合もあるため、予めご留意願います。なお、各記事冒頭の日付は、報道された日付となっています。

コモロ連合月報（2025年8月）

《要点》

【内政】

●26日 Al Fajr 紙によれば、大統領輪番制をめぐり、ジャファール・サルム・アラウイ元スポーツ大臣が「アンジュアン島出身の候補者が大統領になるべきだ」と発言し、物議を醸していることを伝えている。これに対し、グランドコモロ島のコミュニティが反発し、「ダウラ・ヤ・ハキ」という運動がジャファール氏に抗議や訴えを行った。一方で、ジャファールの氏支持者は、「こうした抗議は島間対立を煽る行為だ」と非難している。

【外政】

●7日 Al Watwan 紙によれば、黄峥（HUANG Zheng）新駐コモロ中国大使がモロニに到着し、正式に任務を開始した。中コモロ間の外交関係樹立 50 周年、そして戦略的パートナーシップ締結 1 周年を迎える節目にあたり、黄大使は「歴史的かつ戦略的な関係の深化」を使命とすることを表明。コモロ政府は中国を「歴史的かつ戦略的パートナー」と位置付け、大使の活動を全面的に支援する姿勢を明らかにしている。

●13日 Al Watan 紙によれば、2025 年大阪万博 12 日に開催された「コモロナショナルデー」では、音楽と文化が日本を沸かせた。群島を代表する歌手ソウビとグラムが登場し、伝統楽器ガブシと歌声で観客を魅了、スタンディングオベーションを受けた。続いてグラムがコモロ語とフランス語を織り交ぜた楽曲を披露し、コモロ官民の要人も踊りに加わった。観客は国旗を掲げて熱狂し、スクリーンに映された自然や文化の映像も印象を深めた。出演者は日本の観客の温かさに感謝し、祖国を代表できる誇りを語った。

●14日 Al Watwan 紙によれば、大阪万博に合わせて開催されたコモロ経済フォーラムでは、漁業資源や特産品などの豊かな自然資源と未開発の農業ポテンシャルを強調し、投資環境の魅力を日本の企業や金融機関にアピール。税優遇などの具体的な投資支援策も示された。

●21日 Al Watwan 紙によれば、アザリ大統領は TICAD 9 参加に伴い、日本の横浜市と港湾管理や持続可能な開発での協力強化を図り、コモロの経済発展や海上回廊プロジェクト支援を要請。さらに、若者や専門家の交流を通じた文化対話とスキル向上も推進する方針を示した。

●22日 Al Watwan 紙及び La Gazette 紙によれば、アザリ大統領は TICAD 9 でエネルギーとブルーエコノミーの重要性を訴え、コモロが産業化や民間支援のための改革を進める中で、特に電力とデジタルインフラへの投資を重視していることを示した。日本に対して再生可能エネルギー支援やアフリカ開発基金への協力を求め、広大な海洋資源を活かした持続可能な漁業や海洋観光などブルーエコノミーを成長分野と位置づけた。

●25日 Al Watwan 紙及び La Gazette 紙に、石破茂総理寄稿「Co-cr  er un meilleur avenir pour l'Afrique : une nouvelle   re de partenariat    la TICAD 9」が掲載された。総理は、アフリカの持続可能な発展に向けた日本との協力を強調。

●28日 Al Fajr 紙によれば、横浜で開催された TICAD 9 に合わせて、コモロ議会と日本の国会議員が会談を行い、両国間で「議会友好グループ」の設置が協議された。こ

のグループは、政治対話の強化、立法面での交流、そしてコモロの開発計画（PCE）支援を目的としている。特に海洋経済やインフラ整備、食料安全保障などの分野で、日本が信頼できるパートナーとしてさらなる関与を強めることが期待されている。

【経済】

● 4 日 Al Watwan 紙によれば、モヘリ島では燃料不足が 1 か月以上続き、軍の備蓄まで販売される事態に。補給船の老朽化と供給量不足により、需要に全く追いついていない。闇市場が拡大し、政府は違法輸送・価格操作への厳格対応を表明。

【社会】

● 15 日 Al Fajr 紙によれば、8 月 15 日、コモロの教育関係者がモロニのホテル・レタジに集まり、コモロと中国の協力の礎となった張茂清（Zhang Maoqing）氏に感謝の意を表した。式典では、コモロの教育関係者や学生が張氏の功績を称え、今後の協力関係の発展を願う言葉が多く交わされた。

1 内政

7 日 Al Fajr 紙によれば、コモロ保健省はコモロ赤新月社（Croissant-Rouge comorien）およびフランス赤十字の代表団と会合を行い、今後の協力体制について意見交換を行った。会談では、医療インフラの改善や衛生危機への備え、地元の人材育成といった分野での協力強化が確認された。

8 日 Al Watwan 紙によれば、政府は右ハンドル車の禁止に向けた措置を検討している。すでに摘発された車両には罰金を科し、法令遵守のための猶予期間を設ける方針だ。猶予期間後は車両を完全に没収する予定で、右ハンドル車は法律違反かつ安全面で危険とされている。

<https://alwatwan.net/politique/conseil-des-ministres-i-vers-l%E2%80%99interdiction-des-voitures-%C3%A0-volant-%C3%A0-droite.html>

14 日 La Gazette 紙によれば、13 日、モロニの大統領府で記者会見が開かれ、アフリカ諸国がエミレーツ航空と結んだ空港の 30 年間の運営契約に伴う人員整理計画に関し、政府は解雇された空港職員への完全な補償を実施したと報告した。

<https://mail.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/plan-social-de-l%E2%80%99a%C3%A9roport-indemnisation-compl%C3%A8te-du-personnel-.html>

26 日 Al Fajr 紙によれば、大統領輪番制をめぐり、ジャファール・サルム・アラウイ元スポーツ大臣が「アンジュアン島出身の候補者が大統領になるべきだ」と発言し、物議を醸していることを伝えている。これに対し、グランドコモロ島のコミュニティが反発し、「ダウラ・ヤ・ハキ」という運動がジャファール氏に抗議や訴えを行った。一方で、ジャファールの氏支持者は、「こうした抗議は島間対立を煽る行為だ」と非難している。

<https://www.al-fajrquotidien.com/presidence-tournante-la-declaration-de-djaffar-sarkozy-fait-polemique/>

28 日 Al Watwan 紙によれば、28 日、大統領府で閣議が開催され、行政機関の労働時間を 9 月から統一する方針が示された。

<https://alwatwan.net/politique/conseil-des-ministres-i-l%E2%80%99am%C3%A9nagement-des-horaires-de-travail-%C2%ABd%C3%A8s-septembre%C2%BB.html>

29 日 Al Watwan 紙によれば、コモロ国家報道・視聴覚評議会（CNPA）は、2022 年に施行された情報・通信法の改正に向けて見直し作業を始め、デジタル時代に対応したメディア規制の枠組みを整備しようとしている。新たな草案には、オンラインメディ

アの届出義務や責任の明確化、一定の基準を満たしたジャーナリストへの資格認定制度の導入などが盛り込まれている。一方で、表現の自由の保護、フェイクニュース対策、民間メディア支援基金の創設といった原則も維持されている。今回の改正は、CNPA の強化を軸に、報道の多様性確保、ジャーナリストの安全、そして民主主義の促進を目指す者とされる。

<https://alwatwan.net/societe/assainissement-du-paysage-m%C3%A9diatique-i-le-cnpa-lance-une-r%C3%A9forme-du-code-de-l%E2%80%99information-et-de-la-communication.html>

2 外政

1 日 Al Watwan 紙によれば、7 月 31 日、アザリ大統領は、グランドコモロ島のマウェニ（Maweni）とヘレンジェ（Helendje）を結ぶ道路の開通式に出席。同道路は、フランス開発庁（AFD）が 98 億コモロフランを拠出する「輸出産業支援と農村開発プロジェクト（Afidev）」のプロジェクトの一環で敷設された。

<https://alwatwan.net/societe/inauguration-des-pistes-rurales-%C3%A0-helendje-i-le-pr%C3%A9sident-promet-de-diversifier-les-appuis-au-profit-des-agriculteurs.html>

1 日 Al Watwan 紙は、トルコ国際協力調整庁（TiKA）のモロニ事務所に新調整官のギサエディン・カラテプス（Gisayeddin Karateps）氏が着任した旨報じている。同調整庁は 2017 年にコモロに事務所を開所し、以降インフラ、教育、保健、職業訓練などで二国間協力事業を実施しているとのこと。

<https://alwatwan.net/societe/tika-gisayeddin-karateps,-nouveau-visage-de-la-coop%C3%A9ration-turque-aux-comores.html>

7 日 Al Watwan 紙によれば、サウジアラビアとコモロは、2024 年 11 月に締結された経済パートナーシップに関する覚書に基づき、経済協力の強化を図っている。8 月 5 日から訪問中のサウジアラビア代表団は、コモロ政府および民間セクターと会談し、過去の商取引の停滞要因を検討しつつ、新たな戦略の構築を目指している。コモロ側は、サウジの支援によるインフラ整備（道路や医療施設の整備）を評価し、今後の投資拡大に期待を寄せた。

<https://alwatwan.net/economie/coop%C3%A9ration-bilat%C3%A9rale-i-renforcement-du-partenariat-%C3%A9conomique-entre-les-comores-et-l%E2%80%99arabie-saoudite.html>

7 日 Al Watwan 紙によれば、黄峥（HUANG Zheng）新駐コモロ中国大使がモロニに到着し、正式に任務を開始した。中コモロ間の外交関係樹立 50 周年、そして戦略的パートナーシップ締結 1 周年を迎える節目にあたり、黄大使は「歴史的かつ戦略的な関係の深化」を使命とすることを表明。コモロ政府は中国を「歴史的かつ戦略的パートナー」と位置付け、大使の活動を全面的に支援する姿勢を明らかにしている。

<https://alwatwan.net/politique/coop%C3%A9ration-comores-chine-i-arriv%C3%A9e-de-huang-zheng,-le-nouvel-ambassadeur-de-chine.html>

13 日 Al Watan 紙によれば、2025 年大阪万博で 8 月 12 日に開催された「コモロナショナルデー」では、音楽と文化が日本を沸かせた。群島を代表する歌手ソウビとグラムが登場し、伝統楽器ガブシと歌声で観客を魅了、スタンディングオベーションを受けた。続いてグラムがシコモリ語とフランス語を織り交ぜた楽曲を披露し、官民の要人も踊りに加わった。観客は国旗を掲げて熱狂し、スクリーンに映された自然や文化の映像も印象を深めた。出演者は日本の観客の温かさに感謝し、祖国を代表できる誇りを語った。<https://alwatwan.net/culture/exposition-universelle-2025-au-japon-i-la-musique-comorienne-fait-vibrer-osaka.html>

13 日 Al Watan 紙によれば、8 月 12 日、大阪万博で開催された「コモロナショナルデー」には、ムストファ経済大臣とムゼ・グランドコモロ島知事らが率いる代表団が参

加し、イランイランやバニラ、クローブといった資源や豊かな文化を紹介した。経済大臣は国内加工の拡大と「生物経済への未来志向」を訴え、口承文化や自然との深い結びつきを強調した。

<https://alwatwan.net/culture/c%C3%A9%C3%A9bration-de-la-journ%C3%A9e-nationale-des-comores-%C3%A0-osaka-i-une-empreinte-ind%C3%A9%C3%A9bile-par-les-arts-et-la-culture.html>

14 日 Al Watwan 紙によれば、大阪万博に合わせて開催されたコモロ経済フォーラムでは、漁業資源や特産品などの豊かな自然資源と未開発の農業ポテンシャルを強調し、投資環境の魅力を日本の企業や金融機関にアピール。税優遇などの具体的な投資支援策も示された。

<https://alwatwan.net/culture/expos-universel-forum-%C3%A9conomique-%C3%A0-osaka-i-investissements-vendre-la-destination-%C2%ABcomores%C2%BB.html>

15 日 Al Watan 紙によれば、大阪万博の夢洲に設けられたコモロ館は、同国の自然や文化、伝統を凝縮した空間として 10 月 13 日まで公開されている。入場者はイランイランの香りに包まれ、伝統家屋の再現や衣装展示、映像による海洋生態系や農産品の紹介を通じて群島の多様性を体感できる。訪問者からは「自然と文化の豊かさに魅了された」との声が寄せられた。

<https://alwatwan.net/culture/le-pavillon-des-comores-%C3%A0-l%E2%80%99expo-universel-d%E2%80%99osaka,-au-japon-i-immersion-dans-les-%C2%ABtr%C3%A9sors%C2%BB-de-l%E2%80%99archipel.html>

19 日 中国大使は、コモロとの協力を強化し、貧困撲滅を最重要課題に掲げると発表。両国は互恵的な関係を基に、2030 年のコモロ新興計画達成に向け協力し、地理的・海洋資源の活用支援も行う。中国は 50 年にわたりコモロの発展を支援し、友好関係を深めている。

<https://alwatwan.net/politique/coop%C3%A9ration-sino-comorienne-i-l%E2%80%99%C3%A9limination-de-la-pauvret%C3%A9-au-centre-des-priorit%C3%A9s-du-nouvel-ambassadeur.html>

21 日 Al Watwan 紙によれば、アザリ大統領は TICAD 9 参加に伴い、日本の横浜市と港湾管理や持続可能な開発での協力強化を図り、コモロの経済発展や海上回廊プロジェクト支援を要請。さらに、若者や専門家の交流を通じた文化対話とスキル向上も推進する方針を示した。

<https://alwatwan.net/politique/comores-japon-i-le-pr%C3%A9sident-azali-assoumani-%C3%A0-yokohama-pour-la-ticad-9.html>

22 日 Al Watwan 紙及び La Gazette 紙によれば、アザリ大統領は TICAD 9 でエネルギーとブルーエコノミーの重要性を訴え、コモロが産業化や民間支援のための改革を進める中で、特に電力とデジタルインフラへの投資を重視していることを示した。日本に対して再生可能エネルギー支援やアフリカ開発基金への協力を求め、広大な海洋資源を活かした持続可能な漁業や海洋観光などブルーエコノミーを成長分野と位置づけた。

<https://alwatwan.net/economie/ticad-9-au-japon-i-l%E2%80%99%C3%A9nergie-et-l%E2%80%99%C3%A9conomie-bleue-au-c%C5%93ur-du-message-du-chef-de-l%E2%80%99etat.html>

<https://www.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/japon-%E2%80%93-afrique-les-comores-au-c%C5%93ur-du-d%C3%A9veloppement-indopacifique-.html>

25 日 Al Watwan 紙及び La Gazette 紙に、石破茂総理寄稿「Co-cr  er un meilleur avenir pour l'Afrique : une nouvelle   re de partenariat    la TICAD 9」が掲載された。総理は、アフリカの持続可能な発展に向けた日本との協力を強調。

28 日 Al Fajr 紙によれば、横浜で開催された TICAD 9 に合わせて、コモロ議会と日本の国会議員が会談を行い、両国間で「議会友好グループ」の設置が協議された。このグループは、政治対話の強化、立法面での交流、そしてコモロの開発計画（PCE）支援を目的としている。特に海洋経済やインフラ整備、食料安全保障などの分野で、日本が信頼できるパートナーとしてさらなる関与を強めることが期待されている。

<https://lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/japon-%E2%80%93-comores-vers-la-mise-en-place-d%E2%80%99un-groupe-d%E2%80%99amiti%C3%A9-parlementaire-.html>

3 経済

4 日 Al Watwan 紙によれば、モヘリ島では燃料不足が 1 か月以上続き、軍の備蓄まで販売される事態に。補給船の老朽化と供給量不足により、需要に全く追いついていない。闇市場が拡大し、政府は違法輸送・価格操作への厳格対応を表明。

<https://alwatwan.net/societe/p%C3%A9nurie-de-carburant-%C3%A0-mwali-i-%E2%80%99%C3%A9conomie-%C3%A0-bout-de-souffle,-les-march%C3%A9s-parall%C3%A8les-en-plein-essor.html>

12 日 Al Fajr 紙によれば、コモロの国営商品流通機関（ONICOR）は、商人との間で発生した論争について沈黙を破り、機関の立場を再確認した。過去の財務問題は解決され、現在は負債のない健全な財政状況にあることを強調。商人との契約履行を確実にするため、法的手段を講じる意向も示した。

<https://www.al-fajrquotidien.com/litige-entre-lonicor-et-les-commerçants-lonicor-sort-du-silence-et-reaffirme-son-engagement/>

30 日 La Gazette 紙によると、ムツアムドゥ港は、国際船舶および港湾施設保安コード（ISPS）認証取得に向け、最終段階に入った。8 月 18～22 日に国際海事機関の専門家が再訪し、港湾施設保安計画の進捗確認と見直しを実施。可動ゲートやベルトコンベア導入、新ターミナル構想、32 台の監視カメラ設置などインフラ改善が進行中。

<https://www.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/certification-du-port-de-mutsamudu-lomi-est-de-retour-pour-la-phase-ultime-.html>

4 社会

4 日 Al Watwan 紙によれば、7 月 31 日、イツァンドラ・ビーチ・ホテルに宿泊中だった中国人観光客（71 歳男性）が同海岸にて溺死。その妻は現在も行方不明のまま。当局は事故の可能性が高いとしている。

<https://alwatwan.net/societe/d%C3%A9c%C3%A8s-d%E2%80%99un-touriste-chinois-%C3%A0-moroni-i-le-parquet-%C3%A9voque-%C2%ABune-noyade-accidentelle%C2%BB.html>

15 日 Al Fajr 紙によれば、8 月 15 日、コモロの教育関係者がモロニのホテル・レタジに集まり、コモロと中国の協力の礎となった張茂清（Zhang Maoqing）氏に感謝の意を表した。式典では、コモロの教育関係者や学生が張氏の功績を称え、今後の協力関係の発展を願う言葉が多く交わされた。

<https://www.al-fajrquotidien.com/institut-confucius-un-hommage-a-zhang-maoqing-pilier-de-la-cooperation-sino-comorienne/>

22 日 La Gazette 紙によれば、2025 年 8 月 20 日、モロニ市のヴォロ・ヴォロ市場では、市長の指導の下、商人との対話を通じて協働的なガバナンス体制への移行が始まった。

<https://mail.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/commune-de-moroni-vers-une-nouvelle-gouvernance-partag%C3%A9e-%C3%A0-volo-volo-.html>

26 日 Al Watwan 紙によれば、モヘリ島の環境団体は IUCN 現地事務所で会合を開き、気候対策を議論した。カナダの支援を受けた ReSea プロジェクトの一環で、沿岸地域の 3 万 5 千人の生活と環境の強靱化を目指す。女性や若者の参加を促進し、社会経済データや脆弱性マップなどを作成。

<https://alwatwan.net/societe/projet-resea-recherche-de-solutions-durables-%C3%A0-mwali.html>

30 日 La Gazette 紙によれば、マダガスカル当局は児童売買に関与した疑いでコモロ国籍の 2 人を拘束した。そのうち一人は、2023 年 7 月 1 日にアンタナナリボ空港で出国直前に逮捕され、首都アンタニモラ刑務所に収監された。この女性は、マダガスカルとコモロの二重国籍を持つラマンジソア・ドイミル容疑者から、出生証明書を偽造された乳児を託されたとされる。同容疑者は、偽造文書や渡航許可証の不正発給でも知られ、外交筋によればコモロ大使館も刑事告発を検討している。現在も外交ルートによる調整は続いているが、マダガスカル当局は厳しい姿勢を崩しておらず、この事件が両国間の関係に影響を及ぼす可能性もある。

<https://www.lagazettedescomores.com/soci%C3%A9t%C3%A9/deux-comoriens-d%C3%A9tenu-%C3%A0-madagascar-pour-traffic-d%E2%80%99enfants-.html>

(了)